

黒部市行政改革実行計画
＜アクションプラン＞

平成22年度
(平成22年度～平成26年度)

(H22.4～H23.3)
平成23年3月

期末報告
黒部市行政改革推進本部

 新規
 継続
 継続(見直し)

No.	基本項目	1. 市民と共に進める地域経営	取組実績	担当課 (下線は主管課)							
				全庁 総務企画部 企画政策課							
1	細目	(1)市民との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「協働のまちづくり推進会議(市民17人)」の設置(4月)及び会議の開催 6回 ・市内推進委員会の開催 3回 ・ガイドライン(素案)の作成 ・ガイドライン策定に伴うパブリックコメントの実施(9/10~9/30) 8/26推進会議と市議会との意見交換会の開催 1回 11/10推進会議から市長に「協働のまちづくりガイドライン」について提言 11/15「黒部市協働のまちづくりガイドライン」策定 1/19完成版と解説版を関係者へ配布 普及啓発活動として <ul style="list-style-type: none"> ・12/17市議会議員、12/15自治振興会長会議で概要説明実施 ・2/23職員向け研修会 ・11/22NPO法人向け協働のパワーアップセミナー ・2/5生涯学習フェスティバルに共催し啓発 		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	市民との協働による市政の推進		スケジュール	検討	実施	→	→	→		
	取組内容	市民と行政が協力・連携して担う「協働のまちづくり」による市民と行政との新たな関係を創造するため、ガイドラインを策定のうち協働への仕組みづくりの方向性を構築するとともに、ガイドラインに基づき、「市民と行政の役割分担の推進」をはじめ、「地域活動団体等による自主管理事業の促進」、「NPO、ボランティア団体等の市民活動への支援」等に取り組む。さらに、本市がどういう方向で「市民参画と協働によるまちづくり」を進めるのか、市民にわかりやすく明確にするために、市議会との調整を図りつつ市民と協働で「市民参画条例の制定」に向け検討する。		数値目標	8	9	10	11	12		
				達成値	9						
				進捗目標	ガイドラインの策定				市民参画条例の策定		
				達成度	ガイドラインの策定						
				財政効果							
		*協働のまちづくり 地方分権が進む中、よりよい地域社会を実現するため、社会貢献活動や公共的な地域活動に対して、市民と市が対等なパートナーとして連携協力した立場で取り組むもの お互いの特性を活かした役割や経費の分担、責任の所在を明確にした上で、自立したまちづくりを目指す	備考	数値目標：NPO法人の数							

No.	基本項目	2. 行政の公正の確保と透明性の向上	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務課 ⇒ 総務企画部 企画政策課				
2	細目	(1)開かれた行政の推進	<p>・情報発信担当課・窓口を企画政策課へ一元化した。</p> <p>広報くろべ（総務課⇒企画政策課） 市ホームページ（企画政策課） ケーブルTV行政番組（総務課⇒企画政策課） コミュニティFM（総務課⇒企画政策課） ・様々な広報媒体から適宜、効果的な手法を選択し、情報発信を実施</p> <p>・ケーブルTV・コミュニティFMラジオ連携生放送番組の試行</p> <p>○広報 毎月16,300部発行 P20</p> <p>○ケーブルTV ・毎週金曜日切替 1日5回放送(1回25分) ・行政関連番組構成率 63.6%</p> <p>○コミュニティFM ・リーディング情報黒部 週1回放送(15分) ・ふれあいラジオ 週2回放送(15分) ・マイシティにいかわ 週2回放送(15分) ・黒部観光マップ 週1回放送(15分)</p> <p>○電光掲示板 年間 110本</p> <p>行政関連番組の制作では、わかりやすく、親しみやすい番組とするため、ショート劇や図表を取り入れている。</p> <p>番組をDVD化し希望のある団体に対し配布を行った(健康増進課)。</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	市民にわかりやすい情報提供と様々な広報媒体の活用		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>広報くろべを中心に市政情報を一元的に収集・管理し、一体的・効果的に発信する。 (市ホームページ、ケーブルテレビ行政番組、ラジオミュ、新聞・テレビ等のより効果的な活用と適切な情報発信)</p>		数値目標					
				達成値					
				進捗目標					
				達成度					
				財政効果					
			備考						

No.	基本項目	2. 行政の公正の確保と透明性の向上	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課					
3	細目	(1)開かれた行政の推進	「タウンミーティング」を含め、「市長との対話集会(仮称)実施要綱」の検討		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	タウンミーティング(市民との対話集会)の開催	「市長出前トーク」、「職員出前講座」制度を創設(H23年6月公表・実施予定)	スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	タウンミーティング(市民との対話集会)への参加者をより多く得るため、テーマや参集対象者、開催時期、開催回数などについて検討する。		*H22タウンミーティング ・テーマ：小中学校の再編 自然エネルギーの利活用 水博物館の整備 ・開催回数：4回(11/19、25、26、30) ・場所：市民会館、石田交流プラザ、中央公民館、生地コミセン ・時間：19:00~20:30 ・参加者数：314人	数値目標			500人		
		*H21 ・テーマ：地域医療体制 総合交通ネットワークの整備 新庁舎建設			達成値	314人				
		・開催回数：6回 ・参加者数：584人			進捗目標					
					達成度					
		財政効果								
		備考	数値目標：タウンミーティング参加延べ人数(4回分)							

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 総務課						
4	細目	(1)組織・機構の見直し	・次年度以降の人員計画(退職・採用)とあわせて、1ヶ所削減に向けて組織体制のあり方を検討		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)		
	取組事項	組織・機構の見直し	・新庁舎建設にむけて、窓口体制のあり方(ワンストップなどの受付体制)を検討する必要性を確認し、今後の検討課題とする。	スケジュール	検討 実施	→	→	→	→		
	取組内容	分庁舎方式による現行の組織・機構について、業務効率、財政効果、市民サービスの維持向上の観点から総合的な検討を毎年継続し、その都度状況に応じ、行政組織(部、課(班)、係等)の統合等によるスリム化を図る。		H23.4月に向けて組織の見直しを行った。(28課) ・都市建設班を市民サービス課に統合 ・地域センターを廃止し、市民サービス課を総務企画部に編入	数値目標	△1			△1		
		※H22. 4月現在 29課(班)			達成値	△1					
					進捗目標				新庁舎執務に伴う 組織体制の見直し		
					達成度						
		財政効果									
		備考	課長等が配置されている課・班の数の削減数								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	市民生活部 こども支援課 学校教育課						
5	細目	(1)組織・機構の見直し	<p>9/22第1回黒部市保育・教育あり方検討委員会開催 ～この委員会において、平成22年度中に幼稚園の統合・幼保一体化について答申を予定～</p> <p>11/12 第2回委員会 12/ 2 臨時委員会 12/22 第3回委員会 2/2 第4回委員会 2/21～3/14パブリックコメント実施 3/22 第5回委員会 3/30 提言を取りまとめた *引き続き来年度も開催予定</p>		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	幼稚園の統合・幼保一体化		スケジュール	検討	→	→	⇒ 統合等	⇒		
	取組内容	<p>幼稚園の児童数の減少が続いている現状にあることに加え、施設の老朽化や幼稚園に対するニーズの変化などを考慮し、どのような形での統合や幼稚園と保育所の一体化が必要とされるのか検討する。</p>		数値目標							
				達成値							
				進捗目標	委員会設置				統合等		
				達成度	委員会設置・提言						
				財政効果							
備考											

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	教育委員会 学校教育課						
6	細目	(1)組織・機構の見直し	<p>市PTA連合協議会懇談会において、学校教育基本計画に基づく学校再編の考え方について説明し、意見交換を行った。また、教育振興協議会においても同様に説明を行い、進捗状況を報告した。</p> <p>なお、本年度のタウンミーティングのテーマとして「小中学校の再編」を取り上げ、市民に説明する重点事項に掲げた。</p> <p>東布施小PTAや自治会との教育懇談会、田家小PTAとの教育懇談会を開催したところであり、今後も継続して開催していくこととし、他の地域においても同様の懇談会を開催していくこととしている。</p>		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	学校規模の適正化及び通学区域の見直し		スケジュール	実施	→	→	→	→		
	取組内容	<p>黒部市学校教育基本計画に基づき、子どもにとって望ましい教育環境の実現に向け、必要な施設の整備や教育プログラムを保護者・学校・地域・行政が理解と協力のもと一体となって取り組む。</p> <p>学校再編については、これまでの児童・生徒数の推移を踏まえ、適正な施設規模及び配置になるよう、再編の考え方を次のように例示しており、これをたたき台として、関係者と協議を深めながら実現していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東布施小と田家小の統合(H25頃) ・三日市小と前沢小の統合(H30頃) ・荻生小と若栗小の統合 ・生地小と村椿小の統合 ・中学校を3校以下に再編(H39頃) <p>※これらは、今後の協議によって修正・変更されることを前提としている。</p>		数値目標				10校 (△1)			
				達成値							
				進捗目標							
				達成度							
				財政効果							
備考	目標数値：小学校数										

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 財政課					
7	細目	(2)組織内分権の推進	総合振興計画重点事業→10月上旬に実施する総合ヒアリングにおいて予算枠を調整 10月(予算編成方針決定前)に、部長連絡会で事業費調整結果を伝え、総合振興計画重点事業の各年度ごとの進め方を示した。		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	各部署への予算編成に関する一定権限の付与についての検討		スケジュール	検討	→	実施	→	→	
	取組内容	予算の総合振興計画重点事業枠及び部単位枠の配分について検討する。		数値目標						
		*総合ヒアリング 毎年秋に、財政・企画担当課により各事業執行課に対して行うヒアリング。(予算査定ヒアリングとは別) 中長期に渡る財政見直しに基づき、市の計画(総合振興計画)を効率的・効果的に実施することを目指すもの。 各年度前半の事業進捗状況や予算執行率などを確認し、この結果に基づき、翌年度予算編成に係る具体的な考え方を指示する。		達成値						
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課					
8	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	所管課へ公共施設見直し指針を周知 ・No.9～No.15に掲げた、施設の見直し・検討 ・老朽化施設(市営住宅)の見直し・検討		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	公共施設の設置と管理運営の見直し		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	「公共施設見直し指針」に基づき、施設ごとの方向性を明確化したうえで、廃止、他用途への転用、民間への委譲など改善方針を決定したものから具体的取組みに着手する。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	公共施設見直し指針に基づき実施					
				達成度						
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				総務企画部 総務課						
9	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>新庁舎を建設するにあたり、基本設計及び実施設計の設計要件となる基本構想を策定する委員会(15人)を設置した。(委員会のメンバーは、市民団体代表、公募市民等から構成し市民の意見を積極的に取り入れる体制とした。)</p> <p>委員会開催 7回(上半期3回、下半期4回) 建設予定地の測量などを実施 基本構想の中間報告を取りまとめ公表した。</p> <p>*建設予定地: 旧三日市小学校跡地周辺 *竣工予定日: 平成27年末を目処 *施設の規模: 現在の黒部庁舎及び宇奈月庁舎における執務を行える規模</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	市役所 黒部庁舎・宇奈月庁舎の見直し		スケジュール	検討	→	→	→	→	
	取組内容	分庁舎方式を見直し、新庁舎を建設する。 新庁舎建設にあたっては、事務的、時間的そして経費的に市民の負担軽減に繋がる効率的な行政事務ができる庁内組織や庁舎機能の工夫に取り組む。 この取組みを盛り込んだ新庁舎建設基本構想等の策定と共にその実現に向けた行政組織見直しに努める。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	基本構想策定 中間報告	基本構想策定・ 基本設計着手	実施設計着手	建設着工	建設工事	
				達成度	基本構想 中間報告					
				財政効果						
				備考						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				消防本部						
10	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>上期に建設用地の測量、建設用地の取得・登記、第1次造成(グラウンド部分)を終え、地質調査(ボーリング)、基本設計中</p> <p>下期に地質調査(ボーリング)、基本設計を終え、実施設計及び農道移設工事完了</p> <p>H23年度当初に第2次造成(グラウンド以外部分)、8月に建築着工予定</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部消防署の見直し		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	黒部消防署については、用地取得、造成、建屋の基本設計、実施設計及び整備を行う		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	設計造成	造成・建築着工	建設完了・周辺整備	旧庁舎解体		
				達成度	設計造成					
				財政効果						
				備考						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	消防本部					
11	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	宇奈月分署として機能する体制で運営していく方針を検討中		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	宇奈月消防署の見直し		スケジュール						
	取組内容	宇奈月消防署については、黒部市消防署整備構想策定委員会を開催し、宇奈月消防署の機能を見直し整備する。		数値目標						
		達成値								
		進捗目標								
		達成度								
		財政効果								
備考										

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	教育委員会 図書館					
12	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	建設検討委員会を、平成22年7月30日に立ちあげた。 総合振興計画の後期計画の中であり方を検討 建設検討委員会を開催(7回)、黒部市立図書館建設基本構想報告書をまとめた。 ・新図書館建設に向けての基本的な考え方を示した。 ・宇奈月館のあるべき姿を提言した。		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部市立図書館宇奈月館の見直し		スケジュール	検討	→	→	実施	→	
	取組内容	黒部市立図書館の建設に向けた検討委員会を設置し、新図書館についての検討と併せて宇奈月館のあり方について検討する。		数値目標						
		達成値								
		進捗目標		検討委員会の設置						
		達成度		検討委員会の設置、提言						
		財政効果								
備考										

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	市民生活部 健康増進課						
13	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>①当面の移転先として現在の宇奈月健康福祉センターでは、黒部市規模の保健センター機能を有効に発揮できず、他の公共施設利用を検討。あわせて、宇奈月健康福祉センターを利用する場合のメリット・デメリットを検証した。 健康福祉センターにおける業務については、これまでのセンター機能を維持する工夫を検討していく。</p> <p>②保健センター整備についてセンター利用者へのアンケートを実施。黒部市健康づくり推進協議会を7月に開催し、保健センター機能について検討した。効率的な保健センターを考慮し、「新庁舎内の設置要望書」を市長に提出 新庁舎建設基本構想策定委員会で「保健センターは新庁舎へ併設を検討すべき機能として位置づけられている。</p>		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	保健センター・健康福祉センターの見直し		スケジュール① スケジュール②	検討	→			実施		
	取組内容	黒部市民病院改築計画(マスタープラン)に伴い、黒部市保健センターについては、移転を求められている。 当面の措置としてH24年度に①黒部市宇奈月健康福祉センターに機能を移転する。 今後、保健センターの整備については、広く地域住民の意見を聞くとともに「②黒部市保健センター整備策定委員会」を開催し検討していく。		数値目標							
		達成値									
		進捗目標① 進捗目標②			基本構想				移転・センター取壊し		
		達成度									
		財政効果									
備考											

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	産業経済部 農林整備課						
14	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>現在は、当センターとしての機能を有しておらず、他用途の利用を検討。借入先の企業などを探しているが、現時点では利用者(社)は見当たらない。 なお、現在の維持費は電気料のみ(阿古屋野地区への水道水配給のため不可欠)</p> <p>企業の誘致を重点に置いてきたが、地理的にも無理と思われ、これからは地元の人だけでなく広く一般の人が利用できる施設として運営方法を検討する。</p>		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	窪野高齢者共同作業センターの見直し		スケジュール	検討	使用者の選定					
	取組内容	設置目的に沿った有効利用がされておらず、利用者ニーズも低いことから、地元などとも協議を行い、施設のあり方について方向性を決定する。		数値目標							
		達成値									
		進捗目標									
		達成度									
		財政効果									
備考											

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	教育委員会 給食センター					
15	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>4月)・小中学校校長会及び幼稚園保護者会にて委託内容を説明 ・各学校PTA総会にて説明資料配布(全保護者対象)</p> <p>5月)・学校給食会(全ての校長・園長及びPTA代表で構成)にて概要説明</p> <p>6-9月)・定例教育委員会及び議会へ委託内容等の報告</p> <p>10月)・委託業者の公募 調理業務委託業者選考委員会設立</p> <p>11月)・プロポーザル方式(提案競技方式)による業者の選考実施 ・業者選考委員会による業者の決定</p> <p>12月)・委託開始に向けて業者と打ち合わせ、準備(~3月)</p> <p>3/14)・委託業者が新センターに常駐開始(給食準備・リハーサル等実施)</p> <p>3/30新給食センター開所、4/1委託開始</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	給食センターの管理運営の見直し		スケジュール	検討	委託の実施	→	→	→	
	取組内容	給食センターは、新築移転により、平成23年度から新しいセンターでの運用が始まり、業務開始と同時に調理・洗浄業務を民間委託する。 富山県内に11ヶ所ある共同調理場の内、既に7つの調理場が民間委託を実施(H22.4現在)しており、人権費の削減が図られている。(黒部市では約4千万円の削減見込) 新センターでは、ドライ調理システムへ調理方法の変更が求められており、当該調理に対応するため、優れた調理のノウハウを持った専門業者に調理・洗浄業務を委託することにより、より衛生的で安全安心な給食を提供することができる。 平成22年度に委託業者を選定し、平成23年度から委託実施する。3年ごとに委託業者の見直しをしていく。		数値目標						
		達成値								
		進捗目標		委託業者選定	委託開始		委託業者選定	委託開始		
		達成度		委託業者選定	委託開始					
		財政効果								
備考										

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 総務課					
16	細目	(1)定員管理の適正化	<p>定年前早期退職者の募集と次年度以降に向けた人員計画に基づく職員採用試験を実施</p> <p>*現時点での見込み ・今年度の退職見込数:10人 ・次年度採用等による増加見込数:9人</p> <p>H22実績 ・今年度の退職者数:10人 ・次年度採用者数:8人</p>		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)	
	取組事項	定員管理の適正化		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	新たな「定員適正化計画」(計画年次:平成22年度から平成27年度)に基づき、定員管理の適正化に努める。 (計画策定時の職員数削減目標) H22.4: 448人⇒H27.4: 420人以下へ (*派遣者等の統計上、H22.4の職員数は446人となる)		数値目標	(△3人) 445	(△3人) 442	(△6人) 436	(△7人) 429	(△9人) 420	
		達成値		(△4) 444						
		進捗目標								
		達成度								
		財政効果		No.17(次項目)で計上						
備考	数値目標:年度当初の職員数(上段:削減数 下段:累計)									

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 総務課					
17	細目	(2)給与・手当の適正化	No.16(前項目)に対する財政効果 ・前年度給与費決算額に対する削減額を次により測定することで比較 *削減額測定:(前年度人数-当該年度人数)×前年度1人あたり人件費 H22⇒H23人員減: =(次年度採用者 8人-当該年度退職者 10人) =△2人 H22:1人あたり人件費 (社会保険料事業主負担含む) 7,723千円 財政効果:15,446千円		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)	
	取組事項	一般職員の給与の適正化		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	国・県に準じた給与支給体系を維持しつつ、時間外手当、特殊勤務手当などの改善見直しを図るとともに、「定員適正化計画」に基づく人員削減計画により給与費総額の削減に努める。 【参考】 H21:1人あたり人件費 7,852千円 H21⇒H22人員減:△7人 財政効果:54,964千円		数値目標	(△24) △24	(△21) △55	(△57) △102	(△47) △149	(△71) △220	
		達成値		(△15) △15						
		進捗目標								
		達成度								
		財政効果		15,446						
備考	数値目標:H22年度に対する削減額(単位:百万円) (上段:単年度 下段:累計)									

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 総務課					
18	細目	(2)給与・手当の適正化	年度当初に「時間外勤務の適切な管理」について所属長あてに文書を発出し、時間外勤務の削減に向けて次の取組を推進 ①コスト意識を持った適切な勤務時間管理の徹底 ②スケジュール管理、情報の共有化による効率的な業務の遂行 ③休日勤務に対する振替制度の積極的活用 また、勤務時間の短縮に伴い導入したシフト勤務体制の周知と利用促進により、時間外勤務の抑制に努める。 なお、定期監査のタイミングにおいては、所属長が所属職員の超勤手当の支払状況を報告するなどし、コスト感覚を意識した職員管理を徹底するよう努める。 ※H22時間外勤務手当合計(消防を除く)73百万円 要因:9月の集中豪雨災害対応 3月の東日本大震災支援対応 新事業への取り組み等		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	時間外勤務の抑制		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	事務・事業の改善、業務配分の平準・適正化等により時間外命令の削減に取り組み、時間外勤務の抑制に努める。 ※H21時間外勤務手当合計(消防を除く) 65百万円		数値目標	(△0.3) △0.3	(△0.5) △0.8	(△0.6) △1.4	(△0.6) △2.0	(△1.0) △3.0	
		達成値		(8.0) 8.0						
		進捗目標								
		達成度								
		財政効果								
備考	数値目標:H21に対する普通会計(除く消防)削減額 (単位:百万円) (上段:単年度 下段:累計)									

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課				
19	細目	(1)行政評価システムによる事務事業の整理合理化	<p>・評価対象事業の目的体系化の整理 (616事業 ⇒ 239事業)</p> <p>・行政評価推進リーダー研修会、課長ワークショップ、幹部研修会の開催</p> <p>・事務事業評価の実施(132事業/239事業)</p> <p>・施策評価会議(11/1~11/10) 部長、課長間での協議の場を設定</p> <p>・部長評価(11/11~11/15) 部長が相対評価による課単位で事業の優先度順位付けを実施</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	行政評価システムの確立		スケジュール① スケジュール②	検討・実施	→ 検討・試行	→ 試行	→ 実施	→ →
	取組内容	<p>効率かつ透明性の高い行政運営を推進するため、①全事務事業評価並びに②全施策評価を実施(公開)するとともに、総合振興計画や予算編成、定員管理等との連携を図り、実効性のある行政評価システムの確立を目指す。</p> <p>*行政評価 市が行う事務事業に対するPDCA評価 事業の目的や目指す状態を明確にし、それぞれの事務事業の目標値等を設定。事後にその達成状況を検証することにより、以後の改善計画などに結びつける</p>		数値目標① 数値目標②	40% 30%	60% 80%	80% 80%	100% 100%	→ →
				達成値	53.9% —				
				進捗目標				完全実施	
				達成度					
				財政効果					
				備考		進捗目標① 事務事業評価数/全事務事業数 進捗目標② 施策評価数/全施策数			


No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課				
20	細目	(3)民間活力の積極的導入	<p>指定管理移行対象施設の検討</p> <p>H22.4現在 公募による指定管理施設数 29/公の施設数 196 =15%</p> <p>H23.4現在 前年度 同 15%</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	指定管理者制度の活用		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>公の施設に対する市民ニーズに応えるため、制度導入による効果が見込まれる施設について、管理運営に民間事業者等の持つ技術やノウハウを活かす。</p> <p>*指定管理者制度 公の施設について、民間事業者等に施設の管理や運営に関する権限を委任し、管理等を任せもの。 民間手法を活用した効率的かつ効果的な管理運営主体の選定を目指す。</p>		数値目標			20%		
				達成値	15%				
				進捗目標					
				達成度					
				財政効果					
				備考		数値目標:公募による指定管理施設/公の施設			


No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	市民生活部 こども支援課						
21	細目	(3)民間活力の積極的導入	黒部市保育・教育あり方検討委員会設置 (開催状況・No.5参照) 平成23年9月に保育所の民営化等について提言 予定 ・No.5に関連して実施		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	保育所の民間移管		スケジュール	検討	→	実施	検討	⇒		
	取組内容	子育てと仕事の両立を支援し、保育の質を落とすことなく、むしろ多様化する保育ニーズに柔軟に対応できる体制づくりを整えるために、また、公立保育所が抱える運営面での問題や財政的な見地から、公立保育所の一部民営化はどうあるべきか、また、公立保育所と民間保育所のどのような割合の運営が適切なものか検討する。		数値目標			1				
				達成値							
				進捗目標	委員会設置						
				達成度	委員会設置						
				財政効果							
備考	数値目標: 民間移管保育所数										

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	教育委員会 生涯学習スポーツ課						
22	細目	(3)民間活力の積極的導入	・公立美術館の民間委託実態調査を実施 ・セレネ美術館の指定管理者職員、市美術館職員との意見交換(定期的実施) 業者の選定にあつては、美術展等における作品の貸し借りが当該施設の学芸員の信頼性や他館との関係により行われていることから、その部分が指定管理におけるポイントとなることを確認した。 指定管理は、企画運営部分は学芸員の信頼性に左右されることを考慮すると当面困難であり、施設管理部分の指定管理について検討していく。 H22来館者数 6,769人		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	黒部市美術館の指定管理者制度の導入		スケジュール	検討	検討	→	導入可否を決定			
	取組内容	既に指定管理制度を導入した宇奈月国際会館セレネ美術館との企画連携を密にし、施設の魅力度を高め、施設管理効率を高めるため、黒部市美術館への指定管理制度導入をめざす。 平成22年度 導入の可能性調査 平成23年度 導入の検討 当面は、運営審議会委員の意見を取り入れ、館の特徴を出して認知度を高め、来館者数を増やすことにより、指定管理ができる環境を整備する。		数値目標	設定なし	7,000人	7,500人	8,000人			
				達成値	—						
				進捗目標	セレネとの連携	施設管理への導入検討	企画運営への導入検討	総合的に判断			
				達成度	セレネとの定期的意見交換						
				財政効果							
備考	数値目標: 来館者数										

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課					
23	細目	(4)外郭団体の組織・経営の見直し	<p>・所管課へ外郭団体見直し指針を周知</p> <p>・市監査委員等による監査を定期的実施。運営内容の改善指摘等、経営の適正化に努める。</p> <p>11/ 8 (財)黒部市国際文化センター 11/12 (財)黒部市体育協会 11/12 (財)黒部市施設管理公社 11/17 (財)黒部市吉田科学館振興協会</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	外郭団体の組織経営の見直し		スケジュール	検討実施	→	→	→	→	
	取組内容	「外郭団体見直し指針」に基づき、外郭団体ごとの見直しの方向性を明確化したうえで、統合や抜本的な見直しの検討を行うとともに、経営改善計画を策定し、団体における自立した経営を目指す。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	外郭団体見直し指針に基づき実施					
				達成度						
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課					
24	細目	(4)外郭団体の組織・経営の見直し	<p>上半期の買戻し実績 5筆、52,048千円(4～9月) 達成度 34.7%</p> <p>下半期の買戻し実績 9筆、99,772千円(10～3月)</p> <p>年間達成度 151,820千円 101.2%</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部市土地開発公社所有地の簿価総額の縮減		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	事業用代替地として不用となった土地について、市の買戻しのみならず直接売却等も推進し、簿価総額を縮減する。		数値目標	(△150) △150	(△100) △250	(△70) △320	(△50) △370	(△30) △400	
				達成値	(△152) △152					
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考	数値目標: 公社所有地処分額(単位: 百万円) (上段: 単年度 下段: 累計)							

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課					
25	細目	(5)公有財産の有効活用	8月に公募した4件のうち、1件10,030千円の物件に応募あり。抽選くじにより購入者を決定。10月に売買契約	 スケジュール 数値目標 達成値 進捗目標 達成度 財政効果 備考	H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	未利用地の活用			9/23魚津市新川文化ホールにて新川地区不動産マーケットに出店し、市有物件の販売PRを行う。	実施	→	→	→	→
	取組内容	未利用となっている市有地等の財産について、売却処分、貸出を進め、財源確保に努める(開発事業者への売却など、コスト縮減方法を検討)			9/23魚津市新川文化ホールにて新川地区不動産マーケットに出店し、市有物件の販売PRを行う。	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)
					売却実績	20	40	60	80	100
					10月 10,030千円(442.21㎡)植木地内	(34)				
					12月 9,290千円(315.00㎡)新牧野地内	34				
					3月 14,273千円(602.99㎡)三日市地内・外 合計 33,593千円(1360.2㎡)					
		年間達成度 168.0%								
				33,593						
				備考	数値目標:未利用地売却額(単位:百万円) (上段:単年度 下段:累計)					

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課						
26	細目	(1)計画的な財政運営	H21実質公債費比率の算定(H21:22.8%) 公債費負担適正化計画の見直しにより、今後の実質公債費比率の推移を分析した。	 スケジュール 数値目標 達成値 進捗目標 達成度 財政効果 備考	H22 (H21)	H23 (H22)	H24 (H23)	H25 (H24)	H26 (H25.)		
	取組事項	財政構造の健全化(実質公債費比率)			(H22実質公債費比率は9月末に確定する)	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画期間における実質公債費比率の目標値を設定し、健全化に努める。 <目標> 実質公債費比率を20%未満とする(平成26年度末)。 H19/22.0% H20/22.9%									20% 未満
		*実質公債費比率 当該年度の標準的な一般財源規模に対する償還公債費の比率 早期健全化基準値は25.0%であり、これを超えると『財政健全化計画』を策定し、計画的に財政健全化を目指すこととなる。									
				備考							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課	総務企画部 財政課					
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26	
27	細目	(1)計画的な財政運営	H22起債1次申請額(臨財債除く.) 1,410,900千円							
	取組事項	財政構造の健全化(起債残高)	新規の地方債の発行額については、臨時財政対策債を除き15億以内としている。	スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画期間における社会資本整備に係る起債残高の目標値を設定し、健全化に努める。 <目標> 社会資本整備分の起債残高を概ね154億円とする。(平成26年度末) H19年度末/167億円 H20年度末/165億円 H21年度末/162億円	H22 新規債(繰越分含む)13億円 H22 起債償還額 17億円	数値目標					154億円	
			H22年度末 / 158億円	達成値	158億円					
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
				備考						

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課	全庁 企画政策課 ⇒ 総務企画部 財政課				
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26
28	細目	(2)財政基盤の強化	H22.4に財政健全化プラン策定 (プランに掲げた取組みは、全て行革アクションプランと連動)						
	取組事項	財政健全化プランの作成		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	行革大綱に基づく取組みが財政面で果たす効果を見通すとともに、健全財政を確保していくための目安となる財政指標を設定し、計画的な財政運営を行うための「財政健全化プラン」を作成する。		数値目標					
				達成値					
				進捗目標	財政健全化計画に基づき実施				
				達成度					
				財政効果					
				備考					

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課	総務企画部 税務課						
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26		
29	細目	(2)財政基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・納税通知書及びチラシでの口座振替をPR ・訪問による督促(8月、11/29~12/3) ・督促状(毎月) ・催告書及び文書送付(5月・7月・9月・11月・3月) ・窓口での口座振替の推進 *今後収納率を上げるためどう取組むのかを検討 *滞納者の生活実態を把握して、状況に応じた滞納整理等を実施 ・家屋評価時に固定資産口座振替をPR ・ケーブルテレビでの口座振替を広報(11月・1月) ・県との共同徴収(10~12月) <p>*H22差押件数 188件 平成22年度収納率見込み :99.00% (調定額 7,739百万円 収納額 7,662百万円)</p>								
	取組事項	市税収納率の向上		スケジュール	実施	→	→	→	→		
	取組内容	口座振替納税の推進、滞納処分の強化等により収納率向上と滞納額圧縮を図る。		数値目標	99.01%	99.02%	99.03%	99.04%	99.05%		
		*参考 平成21年度収納率:99.00% (調定額 7,920百万円 収納額 7,841百万円)		達成値	99.00%						
				進捗目標							
				達成度							
				財政効果							
			備考	数値目標:収納率(0.01ポイントの収納率向上で約770千円の効果)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課	都市建設部 都市計画課						
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26		
30	細目	(2)財政基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替不能者に対して不能通知送付(毎月) ・滞納者あて督促状送付(納期の翌月) ・滞納者あて催告書送付(2か月に一度) ・保証人あて納付促進依頼送付(2か月に一度) ・一斉夜間督促の実施(8月26日) ・随時納付(集金)対応 <p>*今後収納率を上げるためどう取組むのかを検討</p> <p>H22実績見込 収納率98.2% 78,120,400円/79,568,900円 約340戸</p>								
	取組事項	住宅使用料収納率の向上		スケジュール	実施	→	→	→	→		
	取組内容	口座振替納税の推進、入居者の生活実態に合わせた徴収強化等により収納率向上と滞納額圧縮を図る。		数値目標	98.0%	98.2%	98.4%	98.6%	98.8%		
		*参考 平成21年度収納率:97.83% 76,691,400円/78,392,500円 約340戸		達成値	98.2%						
				進捗目標							
				達成度							
				財政効果	160						
			備考	数値目標:収納率(0.2ポイントの収納率向上で約160千円の財政効果)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				総務企画部 財政課						
31	細目	(2)財政基盤の強化	<p>補助金一律削減に向けて各課及び財政課にて調整中</p> <p>個々の補助金の性格による仕分けを行い、平成23年度予算編成方針において、この分類等に基づいた削減目標を設定</p> <p>さらに、繰越額が一定の基準を越えるものについては、削減率を高くすることを指示</p> <p>補助金削減に向けて、分類に基づいた予算編成を実施</p> <p>削減額は一般財源ベースで48,180千円</p>		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)	
	取組事項	補助金の適正化		スケジュール	検討	実施	→	→	→	
	取組内容	補助金交付先における事業実施自立プログラムの策定を実施するとともに、所管課におけるヒアリング・査定機能を強化する。		数値目標	(△48) △48	(0) △48	(0) △48	(△48) △96	(△0) △96	
				達成値	(△48) △48					
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果	48,180					
				備考	数値目標：補助金削減額(単位：百万円) (上段：単年度 下段：累計)					

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				総務企画部 財政課						
32	細目	(2)財政基盤の強化	<p>地域総合整備事業債の繰上償還を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上償還元金 55,176,000円 ・繰上償還利子 114,887円 ・繰上償還による負担軽減額 1,762,691円 <p>地域開発事業債の繰上償還を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上償還元金 75,036,045円 ・繰上償還利子 398,919円 ・繰上償還による負担軽減額 522,738円 <p>下水道事業債の補償金免除繰上償還を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上償還元金 21,910,570円 ・繰上償還による負担軽減額 5,395,872円 <p>※負担軽減額年間合計 7,681,301円</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	公債費の削減		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画的な繰上償還、低利債への借換等により公債費の削減に努める。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果	7,681					
				備考						

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	上下水道部 工務課				
33	細目	(3)公営企業の経営健全化	<p>平成22年度は、新たに古御堂地区の組合68戸を加入 現在、2つの組合(約230戸)と協議を行っているが、平成24年度からの加入となる見込み 大町簡易水道組合(105戸)と加入協定を締結し、平成24年度に移行 1組合(125戸)と移行協議中</p> <p>水道料金単価について、上水道事業(旧黒部市)の単価を平成23年7月から順次増額改定する予定としており、今後周知を図る。 水道料金改定について、4カ所で説明会を開催</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	水道事業の経営健全化		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>計画給水区域の整備促進を図るとともに、民営簡易水道組合や水道未加入者(個人)の加入促進を図り、普及率の向上に努める。</p> <p>平成21年度末の上水道の普及率は、60.2%</p> <p>*水道普及率 給水人口/給水区域内人口</p>		数値目標	61.8%	63.0%	64.2%	65.3%	66.5%
				達成値	61.4%				
				進捗目標					
				達成度					
				財政効果					
備考	数値目標:普及率								

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	市民病院				
34	細目	(3)公営企業の経営健全化	<p>改革プランを病院全体のものとして職員に意識付ける為に、主だった部署にも数値目標を出すよう依頼する。 また、8月までの経常収支比率には若干の改善がみられる。(21年度106.8%、22年度106.9%)</p> <p>下期の改革プランの目標数値を院内各部署から提出を受ける。 3月までの収支では、患者の増加等により入院・外来収益が共に増えた。このことにより、経常収支比率も改善した。</p> <p>平成22年経常収支比率 平成23年3月末 102.3%</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	病院改革プランの遵守		スケジュール	実施	実施 検討	実施	→	→
	取組内容	<p>平成20年度より策定・管理を行なっている公立病院改革プランに基づき、健全経営を維持していく取り組みを継続していく。 また、その評価・分析については、ホームページなどにも公表していくこととする。 健全経営の指標としては、経常収支比率を用いることとし、100%以上を目標としていく。</p> <p>経常収支比率実績 平成22年3月末 99.0%</p> <p>*経常収支比率 経常収益(医業収益+医業外収益)/経常費用(医業費用+医業外費用)</p>		数値目標	97.4%	100.9%	101.1%	100.2%	101.1%
				達成値	102.3%				
				進捗目標					
				達成度					
				財政効果					
備考	数値目標:経常収支比率								

No.	基本項目	7. 職員の意識改革と時代に対応した行政サービスの提供	取組実績	担当課 (下線は主管課)		総務企画部 総務課						
						H22	H23	H24	H25	H26		
35	細目	(4)安全・安心な市民生活の確保	<p>防災危機管理班を編成した。危機管理体制について、それぞれの役割を明確化する。</p> <p>各部に災害危機管理担当を配置、市内16地区に情報連絡地区担当職員を配置</p> <p>市総合防災訓練を9月5日に生地小学校において実施し、災害時要援護者の避難訓練や避難所運営協議会の設置訓練など、新たな取組みを行った。</p> <p>9/12、豪雨災害が発生。CATVテロップ放送やコミュニティFMの災害時の運用基準について再考すべきを認識した。</p> <p>「みらーれTVテロップ放送」や「ラジオミュー緊急割込み放送」の運用協議を改めて行い、迅速な情報提供の向上を図った。</p> <p>12月黒部市危機管理指針を策定 3月緊急時の情報伝達のためのJアラートの整備完了</p>									
	取組事項	危機管理体制の充実		スケジュール	検討実施	→	→	→	→			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)危機管理室の庁内組織の設置検討 危機管理室の設置等、危機管理体制の明確化に努める。 ・防災訓練の実施 災害対策本部の設置、指揮命令系統や情報伝達システムの機能確保のため定期的な実施と、参加した市民や各種団体が緊急時に適切な対応ができるよう工夫した防災訓練を行う。 ・災害等緊急情報の充実と迅速化 災害発生時の被害等を最小限に食い止めるため、防災行政無線やCATV、コミュニティFM、防災メール等の手段の充実と緊急情報の迅速な提供に努める。 		数値目標								
				達成値								
				進捗目標	危機管理指針策定、Jアラート連携体制構築	危機管理理想マニュアルの整備						
				達成度	危機管理指針策定、Jアラート整備							
財政効果												
備考												